



展覧会名	山梨ジュエリーミュージアムコレクション展
会期	2026年6月27日（土）－2026年10月19日（月）
会場	山梨ジュエリーミュージアム 山梨県甲府市丸の内1-6-1 山梨県防災新館1階（山梨県庁）
入館料	無料
お問合せ	山梨ジュエリーミュージアム TEL 055-223-1570

展覧会概要

山梨は、古くから水晶の産地として知られ、その採掘と加工の歴史は地域に深く根付いています。縄文時代には水晶のやじりが作られ、江戸時代後期には水晶玉や置物などの加工が盛んに行われるようになりました。

明治時代に入ると、水晶の加工は貴金属加工と結びつき、「水晶入りのかんざし」などの装身具が作られるようになります。さらに大正から昭和にかけては、本格的なジュエリー生産へと発展しました。現在では、山梨は国内を代表するジュエリーの産地となっています。

こうした長い歴史の中で磨かれてきた技術と美意識は、現代のジュエリーづくりにも受け継がれています。山梨ジュエリーミュージアムでは、2013年の開館以来、「人と技術」という視点から、山梨ジュエリーのさまざまな魅力をご紹介してきました。

本展「山梨ジュエリーミュージアムコレクション展」では、その魅力を象徴する作品群「山梨ジュエリーミュージアムコレクション」をご覧ください。これらの作品は、自然豊かな山梨の風土の中で育まれたデザイナーや職人の感性と、高度な技術によって生み出されたものです。

自由な発想から生まれた個性豊かなデザインに、宝石彫刻・宝石研磨・貴金属加工といった確かな技術が組み合わせられ、それぞれが特別なジュエリーとして完成しています。

歴史を受け継ぎながら進化を続ける山梨のものづくりの魅力と、職人たちの技と美意識の奥深さを、ぜひ会場でご体感ください。

主な展示作品



リング「水面に浮かぶ花々」
デザイン：小澤 恭子
制作：有限会社望月クラフト 望月 明



ペンダント「蜜」
デザイン：飯島 恵子
製作：株式会社光新



リング「Tube Band Ring」
デザイン：高橋 杏奈
製作：株式会社石友
小林 正二 石川 空 猪俣 進一

同時開催

「宝美展vol.8」

主催：山梨県立宝石美術専門学校

2026年6月27日（土） - 8月3日（月）

「第16回山梨県水晶美術彫刻協同組合青年部主催作品展 ～伝統をつむぐ作品展～」

主催：山梨県水晶美術彫刻協同組合青年部

2026年8月8日（土） - 9月14日（月）

「山梨大学所蔵水晶工芸コレクション」

2026年9月19日（土） - 10月19日（月）

体験工房のご案内

山梨ジュエリーミュージアムでは、土、日、祝日にジュエリー制作が体験できるプログラムをご用意しています。ジュエリー産地、山梨で活躍している職人等の指導のもと「山梨ジュエリー」のワザを体験できます。



広報用画像

本展覧会をご紹介して頂ける場合に限り、上記掲載の作品画像データを提供いたします。当館サイトからダウンロードできますので、メールでお問い合わせください。ダウンロードアドレスをご連絡します。なお、お問い合わせの際は、下記内容を合わせてお知らせください。

- | | |
|--------------------|-----------|
| ① 希望する作品画像の番号・タイトル | ④ 所在地・電話 |
| ② 媒体名・掲載(公開)予定日 | ⑤ メールアドレス |
| ③ 御社名・ご担当者名 | |

【重要】プレス画像のご利用にあたって、必ずお読みください。

- ① プレス画像の利用は、当該画像に係る展覧会または当館に関する記事掲載の目的での利用に限ります。
- ② プレス画像の掲載に際しては、作家名、作品名、作品情報など所定のクレジットを必ず記載してください。
- ③ 校正の段階で原稿を山梨ジュエリーミュージアム 広報担当宛 (jewelry-museum@pref.yamanashi.lg.jp) にお送りください。
- ④ 画像が無断で第三者に利用されることのないよう、コピーガード、転載不可の明記など、必要な措置を講じてください。
- ⑤ 画像データは使用後速やかに破棄してください。データの保存および第三者への提供はお控えいただくようお願いします。
- ⑥ 取材の内容及び借用画像が収録・掲載されたサイト・番組等はDVD1枚、印刷物については、現物を1部もしくはコピーの場合は3部ご寄贈ください。
※媒体掲載にご使用いただける印刷用の高解像度(300-400dpi)とオンライン用の低解像度(72dpi)の2種類の画質をご用意しております。